

平成24年度
実施事業

事務事業名	自然体験学習推進経費
-------	------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	3	③体験活動の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年等 各小学校5年生（参加児童数 7校 349名） 各中学校1年生（参加生徒数 2校 177名） ・内容 1日目 自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習 2日目 周辺散策、昼食、帰校 等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	自然体験学習は、教室では学べない事柄に触れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる事業であることから、今後も継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	588	567	521	521	521
事業費 合計			588	567	521	521	521

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 体験学習実施回数（日帰り）	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	2			
	② 体験学習実施回数（宿泊）	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	7	7			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育む。	自然体験学習は、教室では学べない事柄に触れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる事業であることから、今後も継続して実施していく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 自然体験学習を通して、教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができるため、市が事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 児童・生徒の社会性・自主性を育むために必要な事業である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 本事業の経費は、ネイチャーセンターへの移動に要する経費であるため、削減は事業規模の縮減につながり、児童生徒の自然体験の機会を狭めることになる。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input checked="" type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 炊事遠足などの野外活動、宿泊学習を通じて、協調性を学ぶとともに、児童生徒間の連帯感も増している。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	自然体験学習を通して、児童生徒の社会性、自主性を育てるために必要な事業である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)